

水酸化ナトリウム・NaOH

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な呼吸器保護具（防じんマスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護メガネ）、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 飲み込んだ場合…口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。 ○ 眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。 ○ 皮膚に付着した場合…直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師に連絡すること。 ○ 吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。 ○ 全体換気装置、局所排気装置を設置すること。 ○ 粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。 ○ 取り扱い後にはよく手を洗うこと。 ○ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。 ○ 皮膚や眼に接触しないこと。 ○ 環境に放出しないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重篤な皮膚の薬傷（腐食性、発赤、痛み、重度の皮膚熱傷、水疱） ○ 重篤な眼の損傷（腐食性、発赤、痛み、かすみ眼、重度の熱傷） ○ 呼吸器の障害（肺水腫の症状は2〜3時間経過するまで現れ、場合が多く、安静を保たないと悪化する） ○ 水生生物に有害 ○ 吸入…腐食性、灼熱感、咽頭痛、咳、息苦しさ、息切れ ○ 経口摂取…腐食性、灼熱感、腹痛、シヨック・虚脱